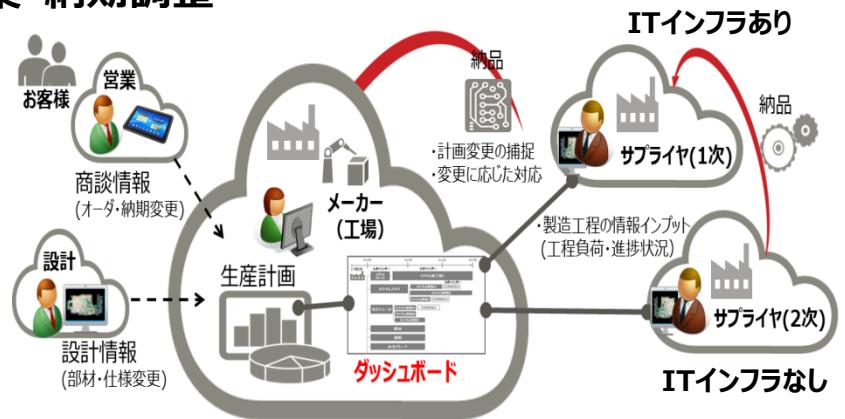


プレゼン：3月10日 B会場 16:30～ 拠点間のサプライチェーン、つながる工場

対象業務の現状と取組み

- **対象業務** 製造業における工程進捗管理・生産計画立案・納期調整
- **現状課題**
 - 複数サプライヤとの情報共有
 - 計画変更への柔軟な対応
 - 納期遅延リスクの可視化

サプライヤとメーカーの生産状況を一気通貫で把握し
計画変更や状況変化による納期遅延を回避



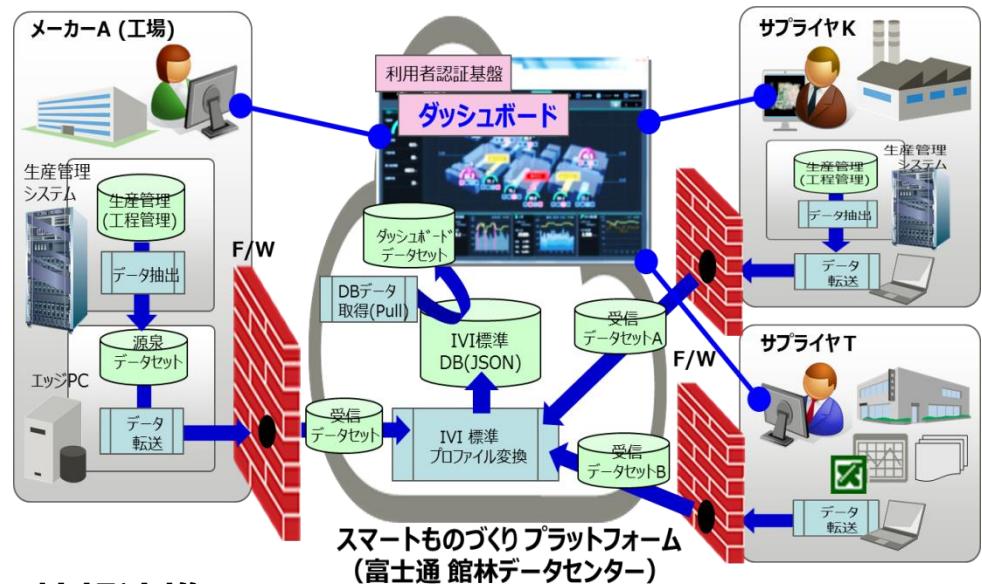
実証実験・業務シナリオ (TO-BE)・成果

■ 業務シナリオ(変革のポイント)

- ① サプライヤの生産進捗・納期遅延の傾向がメーカー側に自然と共有される
- ② 納期遅延リスクを事前に検知し、生産計画に対する影響・リスクを最小限に抑える

■ 実証実験の概要

- ① クラウド上のプラットフォームで、サプライヤとメーカーを仮想的に一気通貫の工程として捉える
- ② 共通のダッシュボードで生産計画の変更や工程の負荷を双方向で管理する
- ③ 中小企業の業務プロセスを変えることなく低コストで情報連携



- **成果**
 - ✓ プラットフォームの活用とデータ標準化により、企業間のゆるやかな情報連携を実現
 - ✓ サプライヤとメーカー双方向での生産状況見える化により、納期遅延リスクを極小化
 - ✓ A.Iの適用による、ものづくり現場の省力化・運用改善の可能性を確認

■ 参加メンバー

富士ゼロックス(株)	角谷 好彦	三井造船(株)	酒井 正和
日本精工(株)	松村 嘉之	三菱重工業(株)	江田 裕和
三菱重工業(株)	辻村 明津司	三菱電機(株)	鈴木 孝幸
富士通(株)	中川 貴詞	富士通(株)	高橋 武志

エディタ：(株)NTTデータ 大居 由博
ファシリテータ 兼 リエゾン：富士通(株) 寺澤 辰也

